

令和6年度 自己評価結果公表シート

学校法人みなと幼稚園
みなと幼稚園

1、本園の教育目標

幼児の個性と成長発達段階に応じた、かたよらない総合的な指導を行い、調和のとれた心身の発達を促進し、たくましく生きぬく心身の基礎を培うことを教育の目標としています。

- (1) 心身の調和的な発達を図り、健全な心身の基礎を養う。
- (2) 日常生活の中でよい習慣や態度を身につけさせる。
- (3) 自分のことは自分でする精神の芽生えを養う。
- (4) 自然への興味や関心を持たせる。
- (5) ことばの正しい使い方を身につけさせ、創造性豊かな表現力を養う。
- (6) 豊かな音楽的感覚を養い、美しい情操と創造的な表現意欲を高める。
- (7) 美しいものに興味や関心をもち、豊かな造形表現ができるようにさせる。

2、重点的に取り組む目標・計画

本園の教育目標に基づいて、各教職員間で共通の認識をはかり、自身の教育を見つめなおすこと。
また、教育の質の向上に努め主体的に教育内容の改善に取り組めるようにする。

3、評価項目の達成状況及び取組状況

評価項目	取組状況
園の教育理念・目標について、教職員間で共通の理解を図る	教育理念・目標については、普段から個々で意識するよう心掛け、職員会や学年の打ち合わせで、それを踏まえながらカリキュラムの設定を行っている。
指導計画の作成と、環境の構成	幼児教育要領及び園の教育目標・方針に沿いながら、前年の反省点などを踏まえ指導計画を作成。園児の興味や関心、自発的な遊びや、友達との協力など引き出せるよう作成した。また、園児が主体的にかかわりたくなるような環境を構成している。
教育の質の向上、スキルアップへの取り組み	知識を吸収し、専門性を向上させる為、年間を通じて、外部研修会に積極的に参加をしているが、一部オンラインもあり。また、園内に講師を招いての内部研修会や、職員同士で意見の交換をすることで、保育に必要な知識を互いに吸収するようにしている。

健康と安全への配慮	登園時に園児様子に気になるところは無いかなど、普段との違いに気を付ける。コロナ禍以降は、感染症の流行がその前までとは違い、季節に関係なく流行するようになり注意が必要である。手洗い・うがい・換気を心がけて指導している。 警備員の配置、防犯カメラの設置、AEDの設置、消防訓練等の受講によりいざという時に、速やかに行動できるよう心掛けている。また、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行い、危険な遊びがあれば注意を促している。
保護者との関わり	年5回の参観日を設け、園での子ども達の様子を見てもらう。また、個人懇談においても幼稚園での普段の生活の様子を話し、逆に家庭での様子についても聞いている。また、成人教育講座では、幼い子を持つ保護者に有益な情報を提供できるようにしている。
地域社会との関わり深める	子育て支援事業の一環としての園庭開放を行っているが、今年度から開催を土曜日にし、より多くの未就園児に遊具や砂場で遊んでもらったり、親子遊びの指導も行うようにした。また、近隣の保育園にも声をかけて開催した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本園の教育目標を元に、子ども達そして先生が安全で安心して教育に取り組める環境の整備が幼稚園の運営目標となる。 教員の自己評価に於いては、良かった点や反省する点を挙げている。それぞれが、どうすべきかを自分自身で理解しているので、今後は幼稚園としてどうサポートし、より一層の高いレベルまで教員達のスキルを上げていくかが重要となる。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
園内環境の整備	危険個所の発見や改善を行う。経年劣化が見られる設備に於いては、順次入替を行いたい。
危機・安全管理体制の整備	地震・津波・火災に対する避難訓練、防犯訓練、交通安全教室の実施、子どもの安全安心を考えた取り組みを一層強化する。
若年教員の育成及びスキルアップ	今年度についても、新任教員の育成が重要であった。幼稚園連合会主催の研修への参加はもちろんの事、先輩教員からのアドバイスも丁寧に行い、当園の教員としてのスキルを身に付けてもらった。中堅以上の教員については、毎年同じ保育をしているか、保育に対して情熱をもって取り組んでいるかなど、自

	己研鑽をして目標をもって保育に取り組むように心掛ける。
教職員が働きやすい職場の提供	教員の採用が年々難しくなっている。より一層の働きやすい職場とするため、何が必要かを常に考えている。働き方改革を意識し、就労時間の短縮、非正規職員の増員など労働環境の改善に注力する。 また、新年度からの採用のみならず、年度途中での採用にも力をいれ、人で不足にならないようにする。
園児数減少の改善	少子化・新制度の影響により、園児数減少が進んできたが、ここにきて減少幅が縮小してきた。SNS等を利用して、子ども達の様子や、行事など様子積極的に発信することで、途中入園児が大幅に増えてきたのが要因かと思われる。この取り組みを継続しながら、更に園児増加に転じるようするにはどうすればよいかを考える。

6. 学校関係者の評価

令和6年度の先生方の自己評価シートを拝見し、先生方がそれぞれの保育に対して、一人一人の園児に対して適切な声掛けが出来ていたかなど自問自答したり、ああすれば良かったと反省したり等々、課題を見出している点に感心しました。また、分からないこと等は先輩に相談してアドバイスを貰ったりなど、風通しの良い環境なのが伺えました。そして、各先生のスキルアップを考え、研修に積極的に参加することができるようにしている幼稚園のお考えがわかりました。

学校運営につきましても、コロナの影響もなくなり通常の園行事等の運営ができているものと認識いたしました。

次年度も引き続き、ひとりひとり子ども達のことを考え、安全で楽しく充実した園生活が送れるようにお願いいたします。

7. 財務状況

公認会計士による会計監査で、適正な会計が行われていると判断された。